



歴史大好きミナちゃん

生粋の米子っ子ジローくん

県外から家族とともに1ターンでやってきた歴史好きの戸山ミナちゃんと、米子生まれの米子育ち、生粋の米子っ子平山ジローくん。ふたりは同じ中学校に通う同級生です。ミナちゃんが最近気になっているのは「米子城」。米子の歴史や文化（カルチャー）に詳しいかるちゃんといっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。

**ミナちゃん**：江戸時代、米子のまちに大きなお城があったんだって？

**ジローくん**：そう、湊山公園の一部としても親しまれている「城山」を中心に城下町が広がっていたんだ。

**ミナちゃん**：城山の頂上に見える石垣がその名残ね。

**ジローくん**：そこは天守があったところだね。それ以外にも、城主の御殿や火薬庫、米蔵などいろいろな建物や機能があったんだ。くわしいことをかるちゃんに聞いてみよう。米子城はどんなお城だったの？

**かるちゃん**：米子城は、戦国時代につくられた<sup>とりで</sup>砦が始まりなんだけど、本格的な城としては、吉川<sup>きつかわひろい</sup>家が天正19年（1591）につくり始め、その後領主となった中村<sup>なかつむら</sup>一忠によって慶長7年（1602）頃完成したといわれているんだ。絵図や古文書から、当時は城山の頂上に大小二つの天守がそびえ立つ山陰一とも言える名城だったことがわかっているんだよ。ジローくんが言ってたように、天守のあった本丸だけではなく、城山のふもとにある二の丸（テニスコートなどがあるところ）、三の丸（湊山球場などがあるところ）や深浦（スポーツ施設などがあるところ）、出山（「とりでの山」になっているところ）なども含めて城山全体が米子城の中心部だったんだ。

**ミナちゃん**：すご〜い！大きなお城だったのね。二つの天守っていうのも面白いわね。どんな感じだったの？

**かるちゃん**：明治11年頃の写真なんだけど、城山の頂上の大天守が写っているよね。現時点で米子城天守の写真はこれ1枚しか確認されていない。小天守の写真はいまだに発見されていないんだよ。

**ミナちゃん**：それは残念ね。でも、天守の石垣まで登ってみたいかなわね。

**ジローくん**：ぼくは小学生の頃から何回も登ったことがあるんだけど、片道15分くらいで楽に登れるし、頂上からの眺めは最高だよ。

**かるちゃん**：そうだね。大山や米子の市街地、日本海、中海、島根半島など360度のパノラマが一望できるんだ。隠岐の島まで見えるときもあるね。こんな眺めのいい場所にあるお城は全国的にも珍しいんだよ。季節ごとに楽しめるし、一日のうちでも時間帯によって景色が劇的に変化するんだ。ぜひ登ってみてほしいね。

**ミナちゃん**：へ〜え、素敵ね。私、今度の休みに絶対登ってみる！

**ジローくん**：米子城や米子の歴史も勉強してみたいよね。

**ミナちゃん・ジローくん**：かるちゃん、米子城のことをもっと教えて〜！

ということで、次回からこのコーナーでは、ミナちゃん、ジローくんたちといっしょに米子城や江戸時代の米子のまちな歴史について学んでいきます。おたのしみに！

（米子市教育委員会 文化課）



湊山頂上の天守石垣



米子の歴史・文化（カルチャー）の伝道師 かるちゃん



大天守の古写真  
（明治11年頃撮影 富田公夫氏提供）